やまぐち酪農セミナー2010が開催されました。

畜産技術部（畜試）
平成22年11月19日

食と命を考える総合学習の一環として、6月から校庭で牧草の栽培に取り組んでいた岩国市の灘小学校4年生の児童が、収穫・サイレージ調製から2ヵ月経った11月9日、出来上がったサイレージを乳牛に食べてもらうため、市内の酪農家を訪れました。

2ヵ月間じっと待ちわびていたサイレージの開封に、児童からはワァーという歓声も上がっていました。

大きな牛と初めて間近で触れ合う児童たちは興味津々で牛に近づき、自らが作ったサイレージの給与やブラッシング、子牛への哺乳を体験し、乳牛のえさや酪農家の仕事、学校へ牛乳が届くまでのお話を聞きました。

児童たちは、これまでの学習を通して、牛乳や牛肉を大切に食べることを約束しました。

農林総合技術センターでは、ふれあい授業を通じて、次代を担う子供たちの畜産への理解醸成に努めています。

酪農家のお父さんのお話

牛をブラッシング